

【技術の名称】 ハリトース工法 ー既存鉄筋コンクリート梁の新設貫通孔に対する補強工法ー（改定1）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第12-30号 改1 性能証明発効日：2017年1月19日 【取得者】 株式会社大林組
---	--

【技術の概要】

本技術は、既存鉄筋コンクリート造梁に対する耐震補強工法で、既存鉄筋コンクリート造梁に新たに設ける貫通孔により低下する部材のせん断耐力を、貫通孔周辺に取付けた炭素繊維強化プラスチック板（以下、CFRP板と記す）、または折曲鋼板により向上させる。施工時には、あらかじめ工場でL字状に成形されたCFRP板（または折曲鋼板）を2枚一組として、梁底面、梁側面を接着し、梁上部側において定着鉄板を用いるなどしてあと施工アンカーボルトで留める。

なお、本工法は、適用建築物に対して、建築基準法、その他関係法令に基づき適正に使用するものとする。

【改定の内容】

新 規：GBRC 性能証明 第12-30号（2013年3月28日）

改定1：GBRC 性能証明 第12-30号 改1（2017年1月19日）

- ・折曲鋼板による補強の追加
- ・CFRP板の仕様変更

【技術開発の趣旨】

既存建物の改修工事では、用途の変更などにより、梁に設備開口を新たに設ける場合がある。そのような場合に、貫通孔の穿孔に伴い低下する部材のせん断耐力の復旧を目的として、本技術は開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「ハリトース工法 設計・施工要領書」に従って設計・施工された鉄筋コンクリート造梁の穿孔後のせん断耐力は、同要領書で定める終局耐力を有する。



L型CFRP板タイプ



折曲鋼板タイプ

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組 技術研究所 担当者：澁市克彦 E-mail：shibuichi.katsuhiko@obayashi.co.jp
〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640 TEL：042-495-0956 FAX：042-495-0904